

2017-B		V 10B			
拠出金・基金 の名称		OECD科学技術指標各国専門家会合 (NESTI) への任意拠出金			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】経済協力開発機構					
【所管官庁担当局課・室名】文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 NESTIの活動の重要性を踏まえた、邦人職員のOECD事務局への派遣するための拠出金。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	22,204	182		1ユーロ= 122円	0
平成28年度	24,934	182		1ユーロ= 137円	0
平成27年度	25,480	182		1ユーロ= 140円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 1 NESTIはOECD/CSTP(科学技術政策委員会)の下部組織のひとつであり、科学技術関連指標について、国際比較のための枠組づくりの観点から、統計調査の方法や指標の開発等に関する検討を行っている。国際社会のグローバル化が進み国際競争が激化している中で、NESTIで進めている国際比較可能な科学技術指標の整備は、我が国の科学技術・イノベーション政策を推進する上で必要不可欠であると評価している。 2 2017年は、3月及び12月の会合において、Oslo Manual(注1)の改訂に向け、改訂案が章ごとに議論され、原則として合意された。なお、この改訂案を提示したオスロ・マニュアル改訂運営グループ(OMSG)には、我が国からもビューロである伊地知成城大学教授が参画し、意見が反映されている。また、Frascati Manual(注2)の改訂を受け、実行及び研究開発統計の品質審査の実施に対する計画案についての合意がなされた。 (注1)OECDが定める企業におけるイノベーションの測定のためのガイドライン。 (注2)OECDが定める、科学技術活動に関するデータの収集・分析のためのガイドライン。加盟国は本マニュアルに基づいて科学技術指標を測定するよう求められている。					
【備考】					